

(報告事項)

平成 23 年 1 月 11 日

平成 23 年度国際放送（テレビジョン・ラジオ）の 放送番組編成計画について

平成 23 年度の国際放送（テレビジョン・ラジオ）の放送番組編成計画について、別冊のとおり策定したので、報告する。

(別冊)

平成23年度
国際放送(テレビジョン・ラジオ)の
放送番組編成計画

平成23年1月11日

国際放送局

目 次

1. 放送番組時刻表 ～別 表～
 2. 編成計画の要点----- 1～3
 3. 放送時間等 ----- 4～7
 - 放送時間（1日）
 - 部門別定時放送時間および比率（週間）
- <付表> ラジオ国際放送の使用言語別放送時間（1日）
- <実施の期日>
○平成23年3月28日（月）から実施

1. 放送番組時刻表 ～別表～

2. 編成計画の要点

[テレビジョン国際放送]

<外国人向けサービス>

○英語ニュースのさらなる強化

欧米のメディアとは異なる視点が視聴者に評価されている、24時間毎正時の「NEWSLINE」をさらに充実させる。シンガポールに新たな取材拠点を設けるほか、国際放送局がこれまでに撮影した映像素材をより効果的に活用するためのデータベースを整備する。また、地域放送局が参加して伝えるレポートや、アジア各地からの中継・企画などを通じて、日本とアジアを多面的に伝える。

○視聴者ニーズに応える番組の新設

各地で行ってきた視聴実態調査や番組への反響などを元に、視聴者のワールドTVに対する要望に応える番組を新設する。

●国際放送局の独自制作番組<新設>

・「Asia in View」(英)

<金・前 11:30 ~ 11:58>ほか
※月2回程度

急速な経済発展で世界の注目が集まるアジア諸国に焦点を当てるドキュメンタリー。多様な言語や民族、宗教が混在する社会にみなぎる熱気や、そこに潜む問題点など、大きな変動期にあるアジアの“今”を描き出す。

・「Booked for Japan」(英)

<日・前 10:10 ~ 10:54>ほか
※毎月最終週

気鋭の日本文学者ロバート・キャンベルが、ゲストと日本文化の魅力を語り合うトーク番組。芸術、文学から現代風俗に至るまで、海外で関心が高い日本文化のさまざまな側面をテーマにする。

●国内放送番組の英語化<新設>

- ・「世界ふれあい街歩き」(二)

<土・前9:10~9:54>ほか

世界各国の魅力的な街を、リポーターをつけずにカメラが歩き回り、日常の光景をつづる紀行番組。思いがけない出会いや発見、地元の人との何気ない会話など、旅人目線で映し出される映像とナレーションで世界の「街歩き」を疑似体験する。

- ・「世界のエコツアー」(二)

<木・前11:30~11:50>ほか

大自然を楽しみながら自然保護の大切さを学ぶ世界各地のツアーを紹介する。環境問題に詳しい地元ガイドの見どころ案内のほか、温暖化や砂漠化、森林破壊など、現地が抱える課題について解説し、さらに旅の実用情報も伝える。

<邦人向けサービス>

1日およそ5時間、主要ニュースや情報番組を視聴者により見やすく編成する。週末に娯楽番組を新設するとともに、ニュース解説番組を充実させる。

●新設番組

- ・「ひるブラ」 <月~木・後 0:20~ 0:43>
- ・「ニュース 深読み」 <土・前 8:15~ 9:30>
- ・「バラエティー生活笑百科」 <土・後 0:15~ 0:38>
- ・「サキどり」 <日・前 8:25~ 8:57>

[ラジオ国際放送]

<外国人向けサービス>

○ニュース・番組の充実

- ・ ニュースは解説や独自企画の取材を充実させ、より分かりやすく伝える。また、番組では日本への観光客にも役に立つタウン情報や、日本の家庭料理の作り方を紹介するコーナーを新設し、幅広い文化情報を発信するとともに、聴取者から寄せられたお便りやメールを積極的に取り上げ聴取者との双方向性を高め、内容の充実を図る。

○多様な放送サービスの推進

- ・ 聴取者の要望に答え、ロシア語、ヒンディー語、ウルドゥー語、ペルシャ語、アラビア語、スワヒリ語、ポルトガル語は、より聴きやすい時間帯への放送時間の移設や放送枠の増設を行う。
- ・ ペルシャ語、ヒンディー語で、中波やFM波による放送サービスを新たに実施する。ウルドゥー語については、新たに中波でパキスタン北部地域をカバーする。また、英語、アラビア語、ペルシャ語は、衛星ラジオのサービスを充実させ、聴取者層の拡大につなげる。

<邦人向けサービス>

○最新のニュース・情報番組の提供

- ・ 国際放送局が制作する日本語ニュースや海外安全情報に加え、国内の主要ニュース、時事番組、大相撲、野球などのスポーツ中継、クラシックや歌謡曲、洋楽などの音楽番組、ラジオドラマなど幅広い分野の番組を国内と同時に放送し、日本の多彩な情報を伝える。

[インターネット]

○デジタルコンテンツの強化と新サービスの開発

- ・ テレビでは、ライブストリーミング配信を拡大するとともに、独自番組のクリップ化によるオンデマンド提供、さらにインターネットTVなど新しいメディアへの展開を図る。ラジオでは、携帯電話が急速に普及するアジアやアフリカ地域などに向けた新たなサービスを開発する。

3. 放送時間等

○放送時間（1日）

[テレビジョン国際放送]

放送時間	およそ28時間
------	---------

<外国人向けサービス>

放送時間	およそ23時間
------	---------

<邦人向けサービス>

放送時間	およそ5時間
------	--------

*北米・欧州地域では、地域衛星を使用して、各1日およそ5時間の放送を実施。

[ラジオ国際放送]

放送時間（18言語）	56時間20分
日本語 各言語（17言語）	24時間00分 32時間20分

*使用言語別放送時間は<付表>参照

<短波放送>

使用言語	放送地域	放送時間
日本語	欧州・北米・ハワイを除く 14地域	20時間
各言語	アジア大陸・東南アジア・ 南西アジア・欧州・ 中東・北アフリカ・アフリカ・ 北米・ハワイ・中米・南米・ 大洋州・極東	26時間20分

<衛星ラジオ放送>

使用言語	放送地域	放送時間
日本語	全地域	4時間
英語・スワヒリ語・ロシア語・ インドネシア語・タイ語・ ベンガル語・ヒンディー語・ ウルドゥー語・アラビア語・ スペイン語・ポルトガル語 ペルシャ語、フランス語	全地域	1時間30分
アラビア語・フランス語・ ペルシャ語・スワヒリ語	中東・北アフリカ・欧州	1時間

<中波・FM放送>

使用言語	放送地域	放送時間
ロシア語	欧州	3時間30分
アラビア語	中東・北アフリカ	
インドネシア語	東南アジア	
ベンガル語 ウルドゥー語 ヒンディー語	南西アジア	
ペルシャ語	中東・北アフリカ	
7言語	4地域	

○部門別定時放送時間および比率（週間）

[テレビジョン国際放送]

<外国人向けサービス>

	放送時間	比率
報道	時間 分 116・25	% 70.6
インフォメーション	48・35	29.4
合計	165・00	100.0

<邦人向けサービス>

	放送時間	比 率
報 道	時間 分 29・59	% 88. 4
インフォメーション	2・49	8. 3
娯楽	1・08	3. 3
合 計	33・56	100. 0

[ラジオ国際放送]

<外国人向けサービス>

	放送時間	比 率
報 道	時間 分 169・06	% 74. 7
インフォメーション	57・14	25. 3
合 計	226・20	100. 0

<邦人向けサービス>

	放送時間	比 率
報 道	時間 分 103・05	% 61. 4
インフォメーション	61・00	36. 3
娯 楽	3・55	2. 3
合 計	168・00	100. 0

<付表>

ラジオ国際放送の使用言語別放送時間（1日）

使用言語	放送時間
日本語	24時間00分
英語	2・30
中国語	4・00
ロシア語	3・30
朝鮮語	2・50
インドネシア語	2・45
フランス語	1・00
スペイン語	1・30
ベトナム語	1・20
タイ語	2・20
ビルマ語	1・20
ベンガル語	1・30
ヒンディー語	1・15
ウルドゥー語	0・45
ペルシャ語	1・30
アラビア語	2・00
スワヒリ語	1・15
ポルトガル語	1・00